

INFORMATION

プラネタリウム一般番組

宇宙、色っぽいね!

物の色の正体から、宇宙の天体の色のひみつまで、色の正体を探っていきます。今夜の星空生解説もご覧になれます。

4月17日(土) → 7月11日(日)

平日	18:00
土曜日	*11:30 13:30 17:30
日祝日	11:30 15:30

※第1、3土曜日のみ

星空ライブトーク

今夜見える星や星座、最新の天文ニュースなどを当館の天文スタッフが生解説でわかりやすく紹介します。解説の内容は毎月変わります。

土曜日	15:30
日祝日	13:30

MUSIC PLANET

ミュージック・プラネット

土曜の夜だけの特別プログラム、最新鋭のプラネタリウムによる満天の星空と心地よいサウンド、そして宇宙の話題が織りなすファンタジックなひとときをお楽しみください。

土曜日	19:00	29
	5月1、8、15、22日	
	6月5、12、26日	
	7月3、10、24、31日	

■料金 (入館料を含みます)

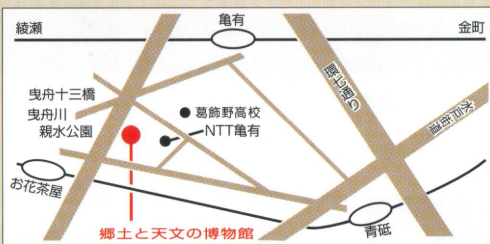
大人400円/小・中学生150円/幼児50円
第2・4土曜日は小・中学生以下無料

■休館日・休演日

月曜日(祝日は開館) / 第2・4火曜日
7月14日(水~16日(金)) (番組入替えのため)

■上映15分前までにご来館ください。

交通のご案内



- 京成線 [お花茶屋] から8分
- JR常磐線 [亀有] から25分
- 京成バス (有57 亀有-奥戸車庫) [共栄学園] 下車徒歩5分
- 駐車場に限りがございます。電車・バスをご利用ください。

インターネット・ホームページ <http://www.dos.misato.wakayama.jp/~katushika/index-j.html>

葛飾区



葛飾区郷土と天文の博物館

〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1
TEL 03(3838)1101

Red



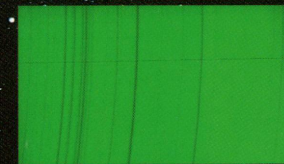
波長6200Å

Blue



波長4300Å

Green



波長5300Å

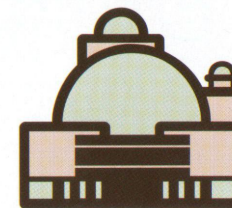
Å=オングストローム
(1000万分の1ミリ)

当館の太陽望遠鏡でとらえた太陽のスペクトルの一部

PLANETARIUM

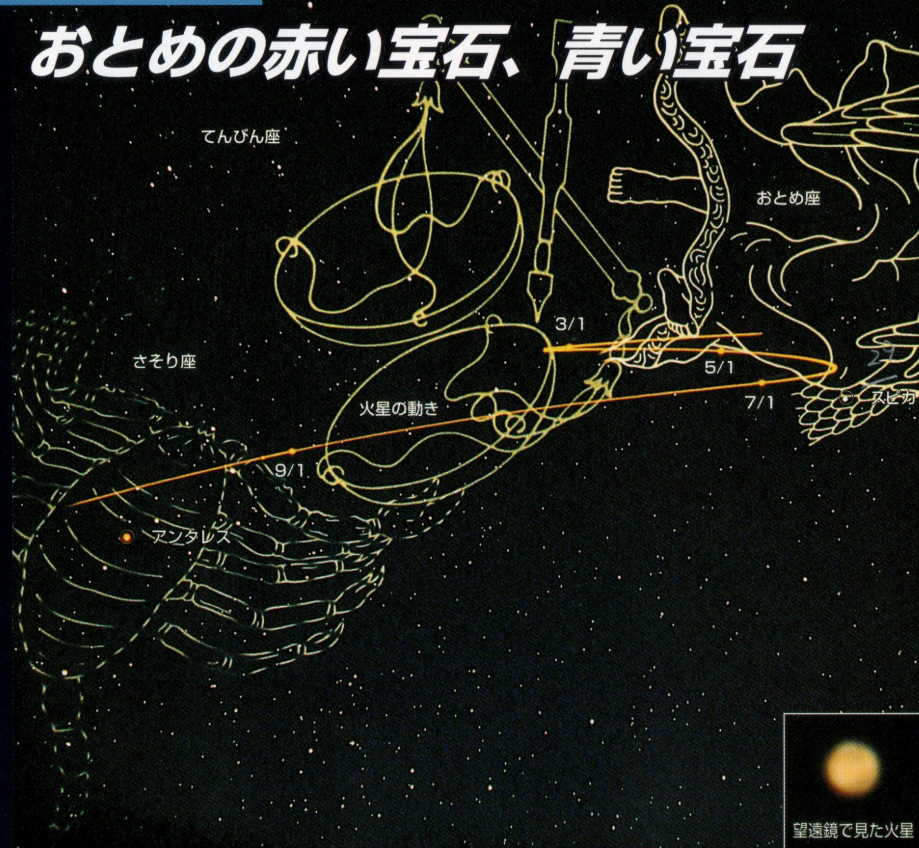
宇宙、色っぽいね!

Vol.32 1999.春



KATSUSHIKA CITY MUSEUM

おとめの赤い宝石、青い宝石



■火星が5月に地球に接近!

春のおとめ座の足元に、火星がマイナス1.6等級の明るさで見えている。接近中の火星に望遠鏡を向けると、火星の模様を見ることができる。

火星は月日と共に星座の中を動いていくので、やがててんびん座からさそり座へと移っていく。その様子を観察すると面白い。

もっとも接近する5月初旬には、地球から8650万kmにまで近づく。

次々回の接近は2003年で、このときは約5500万kmにまで接近し、夜空で約マイナス3.0等級の明るさを放つことになる。

■赤い惑星と2つの1等星の接近

今年火星は2つの1等星に接近する。一つはおとめ座のスピカだ。スピカとは「麦の穂」の意味で、ギリシャ神話の豊穡の女神、デーメーテルが持つ麦の穂のところにちょうど輝いている。スピカの色は青白いので火星との色の対比が美しい。おとめ座は夜空の宝石を2つも独り占めだ。

火星は9月にはさそり座の1等星、アンタレスのそばで輝く。アンタレスとは「火星の敵」という意味。2つの星が赤い色を競い合っているかのように見える。次回2001年の火星接近のときは、真夏の夜空でこの様子がもっとよく見えるだろう。

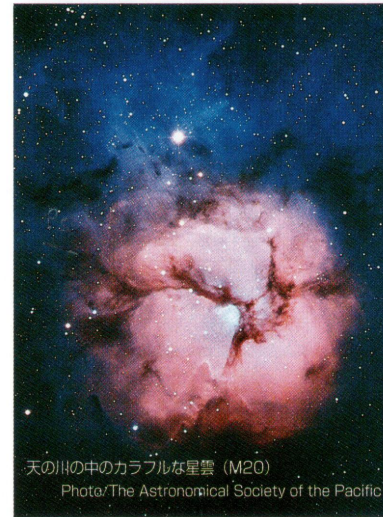
宇宙、色っぽいね!

夜空の星の色は、どうしてついているのでしょうか。「宇宙、色っぽいね!」では、色と光の正体を探ります。カラフルな光の宇宙をのぞいてみましょう。

■天体の色はなぜついているの?

夜空の星の色はとてもカラフルです。恒星の色の正体は星の温度と関係があります。星の色は実際の星がどんな状態なのかを知る一つの目安になっているのです。

また写真ではじめてきれいに写せる散光星雲も、赤や青の光を放っています。赤い光は水素のガスが、ものすごくエネルギーが強い恒星に照らされているときにだけ出す、特別な光なのです。



天の川の中のカラフルな星雲 (M20)
Photo/The Astronomical Society of the Pacific

■身の回りのものの色はなぜついているの?

私たちはカラフルな物に囲まれて生活しています。物の色は「光」ととても深い関係にあります。自然の光、太陽の光の下で、私たちは色を正確に見ることができますが、この太陽の光の中に、私たちの身の回りの色のひみつがかくされているのです。



葛飾区郷土と天文の博物館の太陽望遠鏡でとらえた太陽スペクトル

光は波長の違いにより「紫-藍-青-緑-黄-橙-赤」と、虹のように分かれて見えます。これを太陽のスペクトルといいます。この色が身の回りの物の色の素になっているのです。

番組ではみなさんにも色を使った実験を体験していただく予定です。お楽しみに!

宇宙、色っぽいね!

声の出演

Mori Katsuji

森 功至

(株)青ニプロダクション

